



みなかみ

15道県からパトロール隊員やスキー場関係者約60人が参加したスキー場の安全対策に関する講習会が21、22両日、みなかみ町のスキー場で開かれた。参加者が座学や救助訓練を通して安全意識を高めた。

22日はスキー場のゲレンデで沼田署谷川岳警備隊と連携し、コース外で遭難事故が発生したとの

スキー場 安全徹底

想定で救助訓練をした＝写真。連絡を受けた谷川岳警備隊が遭難者を捜索し、発見後はゲレンデまで運び、パトロール隊に引き継いだ。参加者はカメラを手に、救助の様子を見守っていた。

一般財団法人日本鋼索交通協会（東京）が主催した。初日の21日はスキー場に隣接するホテルで、スノースポーツ安全基準改定に関する解説やスキー学校の安全管理などについて講演が行われた。